

第15号 市小公連だより



筑紫野市小地区公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市小公連事務局

■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3

■発行責任者 会長 三宅 俊明

生涯学習センター内 ☎092-918-3535

【役員のことば】 松ヶ浦公民館長



副会長 中野 二郎

私たちは現在、小地区公民館連絡協議会とコミュニティ運営協議会の連携「一体化」に向けた作業を進めています。これによって、地域における公民館の位置づけや役割、活動形態が大きく変わるものではありません。

公民館を拠点とした地域コミュニティ活動と生涯学習、そしてこれらのネットワークの現況は、行政と地縁組織双方の発展の道程を反映して育まれてきた「筑紫野市型」を形成しており、リニューアルを繰り返しながら定着に至った、とても完成度の高いシステムだと思えます。

この到達点を基盤とした文頭の「一体化」が、地域力向上や市が掲げる「まちづくり構想」のための強力な推進力をもたらすことを願っております。

【今までの経緯】

筑紫野市における各地域コミュニティの強化を促進するため、平成29年6月より、連携検討委員会を組織し、連携<一体化>についての検討を開始している。

目指す姿として、各地域コミュニティ運営協議会(以下「コミ協」という。)の組織の中に各地区小公連を一体化するとともに、市小公連は、筑紫野市コミュニティの中に位置し、コミュニティ連絡会と密接に連携。一体化後は、各地域コミ協及び各地区小公連と連携しながら、まちづくりの拠点としての公民館事業のさらなる活性化を推進し、地域コミュニティの強化に寄与する。現在、委員会の検討結果を踏まえて、各地区小公連とコミ協で継続的に協議を推進中。

今後、共に力を合わせて、筑紫野市の地域コミュニティのさらなる充実・発展を実現していきたいと考えている。

【連携<一体化>のメリット】

小公連及びコミ協の事業の効率化・活性化、新規事業の企画、小規模公民館の活性化、人材の発掘・育成等

【協議事項】

コミ協との連携<一体化>に対応して、現在の小公連の組織・運営・事業・経理・規約について協議し、新規・変更・継続する内容についての案を策定

【今後の予定】

3月の理事会で連携<一体化>答申案について協議し、5月の市小公連総会に提案して承認を得る予定。平成30年度に、条例改正等、連携<一体化>のための準備及び一部試行を推進し、平成31年度より、本格的な運用を開始する予定

小公連&コミ協
連携へ一体化へ推進



(連携検討委員会)

連携検討委員会協議内容 <2017.6~2018.3>							
6月	7月	8月	10月	12月	1月	2月	3月
第1回 (6/14 13:30)	第2回 (7/26 13:30)	第3回 (8/21 13:30)	第4回 (10/11 13:30)	第6回 (12/13 13:30)	第6回 (1/17 13:30)	第7回 (2/13 13:30)	第8回 (3/8 13:30)
□連携検討委員会の発足 □検討項目 □協議の進め方検討	□各地区協議状況 □組織検討 □運営検討	□各地区協議状況 □事業検討 □経理検討	□各地区協議状況 □市小公連位置付け検討 □小公連規約見直し検討	□各地区協議状況 □小公連規約改正案検討 □理事会答申検討	□コミ協連絡協議会協議状況 □小公連規約改正案概成 □総会提案検討	□理事会答申完成 □一体化対応準備事項 □総会提案検討	□各地区協議状況 □小公連規約改正案完成 □総会提案完成
コミュニティ連絡会報告(7/5)	コミュニティ報告(7/5)	五役会承認(10/27)	コミュニティ連絡会報告(11/1)	理事会承認(11/17)	コミュニティ報告(12/6)	コミュニティ連絡会報告(2/7)	
理事会への答申		理事会承認(3/16)		総会への提案		総会承認(2018.5)	

市小公連地区別視察研修会

山家地区全公民館

平成30年1月20日(土)
「まちづくり、ひとづくり」
ワトソン・ロバート氏の講演を受けて「自分達が子ども頃は、鼻垂れ坊主や破れた服を着ていたが人々を敬う温かい尊敬の念があった。テレビのある家に力道山の空手チョップや大相撲観戦など大人も子どももワイワイ・ガヤガヤ。昔の思い出が、ワトソン氏の講演を聞いて脳裏に浮かび気持ち温かくなった。少子高齢化と人口減少を迎えて、行事参加者が段々少なくなり、無関心者が多くなった。ワトソン氏が言われる様「まず、実態を踏まえて地域住民に関心を持ってもらう行事」の施策展開を一步進めるしかない。そこから地域住民の笑いや協同性が芽生え、感動を与え、感謝になる様、志を持って頑張りたいと思う。



筑紫地区 城山公民館

平成30年1月28日(日)
城山公民館にて開催されました。この日は、小雪舞う寒い一日で、平日頃は、ほとんど閉まりっぱなしの寂しい城山公民館にご来賓(市小公連・市生涯学習課・市議員)及び筑紫地区公民館長・主事など39名の参加のもと活気あふれる研修会が開催されました。「城山の自然を生かした地域づくり」をテーマにホタルの里づくりの提案のほか筑紫野市内においてインバウンドでは最先端を行く施設「筑紫野イチゴ農園」の視察などを行いました。
残された城山の貴重な自然を活かすことにより、筑紫コミュニティの活動や各地区公民館活動の一層の活性化が期待できそうな研修会となりました。



山口地区全公民館

平成30年2月3日(土)
演題「超高齢社会の進展と小規模公民館の活性化」
「我が事・丸ごとで福祉のまちづくり」
筑紫女学園大学人間科学部 教授・山崎 安則氏
地域福祉における地域公民館の重要性を重点に置いて、公民館の在り方を中心として住民を巻き込んだ活動をいかに行っていくか。地域に点在する各種団体を巻き込んだネットワーク。住民の特技をいかした趣味のサークル立上げ・地域の季節恒例行事を通じて住民の親睦融和を図りながら互助共助の新たな支えあいなど、公民館としての役割を担う人材を育成し、住民のつながりを深める等、地域の拠点としての公民館の活性化対策を分かりやすく具体例を挙げながら説明していただき、「目からうろこ!」の内容に参加者が熱心に聞き入っていました。



二日市地区 曙町公民館

平成30年2月10日(土)
曙町公民館にて開催され、「曙町公民館の活動概要・公民館建設について」報告がありました。
第1部曙町のプロフィールでは、「曙町」町名の由来、世帯数・人口の推移状況と主な史跡の紹介がありました。
第2部町内会及び公民館活動では、防犯パトロール、通学児童見守り活動、ソーメン流し、けんこう教室等福祉サロンについて報告がありました。
第3部公民館建設では、築35年を経て老朽化し安全な避難所としての維持も困難となったことから、平成26年から準備会を立ち上げ公民館建設に至りました。新公民館は、平成29年11月に完成・12月に落成式・地元お披露目会が開催されました。



御笠地区 大石公民館

平成30年2月11日(日)
御笠コミュニティセンターで開催しました。大石公民館は、伝統行事、お祭、防犯や高齢者の見守りなどの自治活動を支えるとともに、こんにやくづくり、十割そば打ち、郷土史などの公民館事業を地区の逸材を講師に取り組んでいます。
そして、大石地区が35.3%と超高齢社会である課題に、老人クラブをより魅力的にする対策と、近隣地区の公民館と一緒にBGレンジャーにチャレンジしていることを発表されました。



二日市東地区 紫ヶ丘公民館

平成30年2月4日(日)
紫ヶ丘公民館に於いて、「公民館活動の現状と問題解決について」をテーマにして、研修会を開催しました。

イ、紫ヶ丘の概要、公民館活動・現状ハ、公民館活動で今直面している課題と解決について、分けて発表しました。後の意見質疑応答では、少子高齢化、後継者の問題、公民館活動に関する意識の希薄化等々多くの地域で現在抱えている難題であると発言がありました。紫ヶ丘で昨年から取り組む問題解決特別委員会として、公民館活動の内容を見直し、活動に参加するのは強制的な義務ではなく、会員の権利の行使であること、参加しやすく達成感や、やりがいを感じる公民館活動が出来るように、検討を重ねたいと思います。



筑紫南地区 美しが丘北公民館

平成30年1月27日(土)
テーマ「これからの公民館に求められるもの 地域住民と時代のニーズに応えて」

第1部 自治会活動
①公民館の概要 ②公民館施設内一斉清掃・ラジオ体操・サマ1フェスティバル他 ④今後の課題・性犯罪への安全対策・防災組織の見直し・子ども会活動・まちづくりの要

第2部 公民館での実践
①公民館の定義と目的 ②既存の教室・サークル ③課題・高齢化の進展・子ども居場所づくり ④地域住民が求めていること・健康的な身体づくり・娯楽・トライしたい趣味 ⑤講座・教室の開催にあたっては、PDCAサイクルを活用【成果】①今まで公民館に来たことのない方が来館されるようになった。②躊躇していた事にトライし、その後、教室に通うようになった。③地域内での知り合いが増えた。



市小公連の活動報告

みかさ台公民館



「マンドリンコンサート」マンドリン各種・ギター・ベースの弦楽器による構成で、曲目は、懐メロ・唱歌・クラシック。
【参加者】64名【成果】演奏曲が多彩で楽器についての解説や奏者と受講者の距離が間近であったことなど、大変好評で情操教育効果大【課題】多忙な「太宰府マンドリンクラブ」との日程調整。受講者集めのための広報や人脈を駆使しての宣伝活動

公民館主催講座

小地区公民館で毎年新しく開設される講座の内、公民館が主催する講座や地域の団体、住民の学習支援を公民館が行う場合を対象として講師謝金(一定限度内)を補助しています。是非、ご活用ください。対象となる講座の内容は、次の例を基本とします。

①社会的課題や地域課題、生活課題などを地域で考える講座
例えば・・・人権学習、環境学習、高齢者学習、福祉問題、防犯防災振興等
②趣味、教養など市民の学習推進につながる講座
例えば・・・ストレッチ体操、生け花、陶芸、習字、そば打ち、門松づくり等
③その他、小地区公民館の学習活動推進につながる講座
今年度は35の公民館主催講座が実施されましたが、そのうちの3講座を紹介します。

杉塚区公民館



「絵手紙教室」季節の花や思い出の風景・行事など絵手紙を書いて、相手に伝える。絵を描くこと、文章を添えることにより、相手に気持ちが通じる。【参加者】6名【成果】人とのつながりができ、屈託のない話をしながら絵を描いて楽しんでいる。【課題】仲間が増えないのが課題だが、今の人数でもこじんまりとしていい感じ。

若江公民館



「植物の力で爽やかサマー」植物の香りや人間の心と身体にもたらす作用のひとつである虫よけ作用に着目し、防虫効果のある虫よけ袋とさわやかスプレーを作る。【参加者】13名【成果】参加者全員から「良かった」との感想をもらえた。アロマを身近なものとして受け入れてもらった。【課題】講座開催の周知。参加者を増やすための個別対応、勧誘等

筑紫地区・常松公民館

《常松公民館の概要・公民館活動》

永吉 孝廣 (常松公民館長)

昔から子ども達がザリガニや魚を獲って遊んでいた溜池が埋め立てられ、平成 9 年 2 月に常松公民館が建てられました。

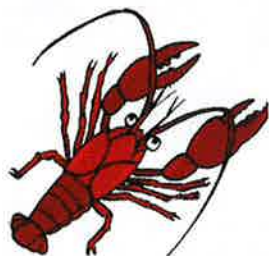
施設は研修室・6畳と8畳の和室・調理室の197㎡の平屋建てで西鉄桜台駅から徒歩3分位にあります。周辺はアパート等が多い住宅地ですが、まだまだ自然が残りとても住みやすい所です。行政区は208世帯、人口485人で、小中学生は年々少なくなり高齢者が年々増えて来ています。公民館では、高齢者が楽しみにしてある年2回のいきいきサロン、敬老会は23名の参加があり歌・ゲームを楽しんでいます。11月には震度6弱の地震を想定し、自主防災組織で担架・車椅子を使って公民館までの避難訓練、水消火器での消火訓練後は豚汁の炊き出しを行いました。また、夏祭りは子どもから高齢者まで300名の参加があり、盆踊りや手作りの焼き鳥・焼きそば等出し物で盛り上がり、近くのさくら保育園からは子どもたちの踊りもあり一層賑います。

昔ながらの常松三郎天神社境内で行われる7月のお夜渡や有志による1月のほうげんぎょで年が明けます。

今後の課題としては、行きやすい、使いやすい公民館を目指してのリーダー作り、更にサークル活動が少しでも出来ればと願っています。



ほうげんぎょ



いきいきサロン



二日市東地区・旭東公民館

公民館は、二日市地区のほぼ中央に位置し、近くにはJR二日市駅・西鉄紫駅・筑紫野郵便局・生涯学習センター・スーパー等があり、生活環境に恵まれた地区です。

現在の公民館は、平成17年10月に建て替え12年になります。公民館発足当初から、旭町・東町両行政区合同で運営しております。公民館の諸行事も両行政区が協力して友好的に行っています。

■公民館事業、行事

- ・4月 新一年生歓迎会
- ・8月 夏祭り・子ども会ソーメン流し
- ・9月 敬老会
- ・10月(11月) 子ども会交流いも堀大会
- ・12月 もちつき大会

※ 旭東クラブ(いきいきサロン) 毎月第2土曜開催

※ 「公民館ふれあいの日」毎月1回開催

公民館を開放して健康講座・囲碁 ダーツ・卓球・カラオケ・トランプ等一緒に楽しむ交流の場づくりを実施

井上 國次 (旭東公民館長)

編集後記 年3回発行しています。(3・7・11月)

記事・写真等がありましたら事務局までご連絡ください。



子ども会いも堀大会



もちつき大会